

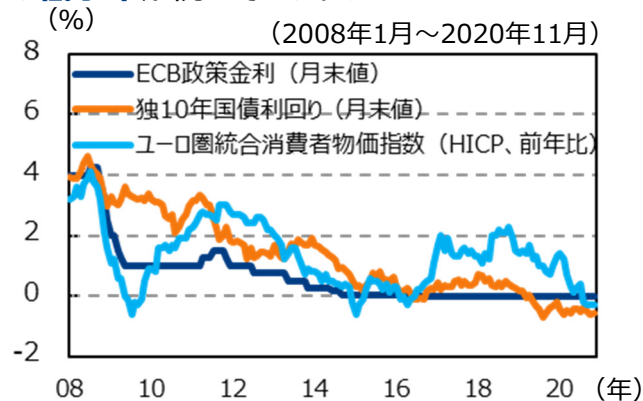
欧州マーケットビュー



- ユーロ圏の2020年7-9月期の実質GDP成長率は**前期比+12.6%となり、大幅な下落となった前期(-11.8%)から大きく回復**しました。
- 欧州では10月以降、新規感染者数の急増を受けて主要国は再びロックダウンを余儀なくされましたが、行動規制によって感染者数の増加ペースが減速するなか、**クリスマスや年始に向けて条件付きながら規制を部分的に解除する方針**を示しており、生産活動は2021年初にかけ持ち直すものとみられます。

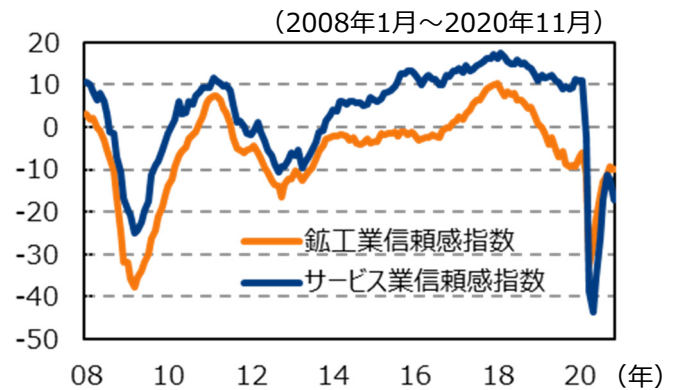
金利とインフレ率

ユーロ圏の11月のHICPは前年比-0.3%でした。**金融緩和の長期化が意識され長期金利は低水準**が続いています。



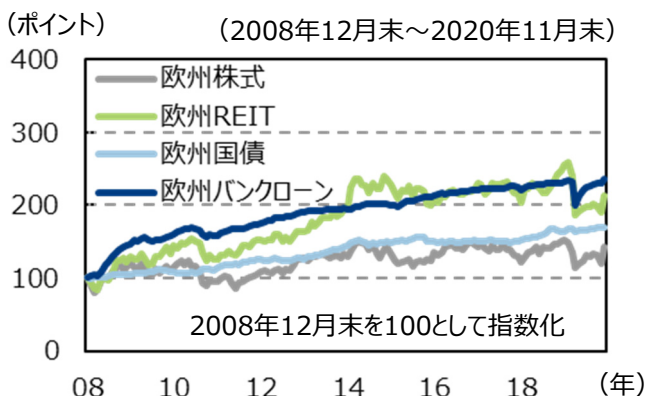
企業景況感

ユーロ圏の企業景況感は、足元では鉱工業、サービス業のいずれも**マイナス幅が再び拡大**しています。



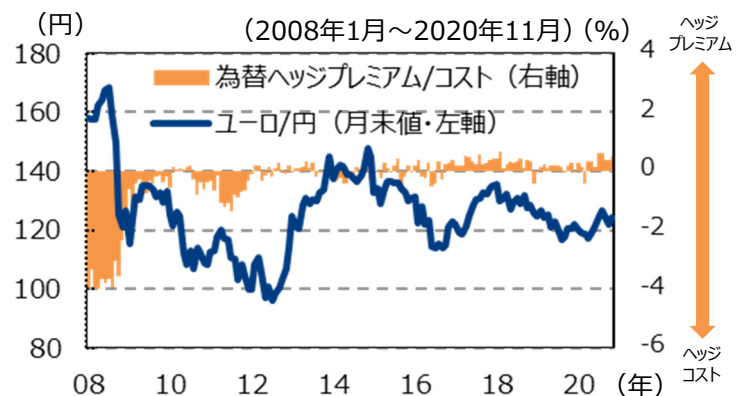
欧州各資産の推移

欧州株式等のリスク資産は**新型コロナウイルスのワクチンの早期実用化への期待**などを背景に足元で回復基調にあります。



ユーロ/円と為替ヘッジプレミアム/コスト

日本円の金利がユーロよりも高い状況から、**ユーロ/円はヘッジプレミアムが生じています。**
(2020年11月：0.52%)



(注) 為替ヘッジプレミアム/コストは直物為替レートと期日1ヵ月後の為替予約レートとの価格差(月間平均値)から簡便法により算出。
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※使用したインデックス (いずれもユーロベース)

欧州株式：ユーロストックス50指数、欧州REIT：FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Index、欧州国債：FTSE欧州国債インデックス、欧州バンクローン：クレディ・スイス・ウェスタン・ヨーロッパ・レバレッジド・ローン・インデックス

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。



三井住友DSアセットマネジメント

作成基準日：2020年12月4日